

## 小児がん診療施設に関する情報公開について

### (1) 情報公開の目的と意義

ブロック内の小児がん診療を担う医療機関の連携を強化し、小児がん患者および家族により正確な情報を提供することを目的として、小児がん診療施設に関する情報を公開する。

小児がん診療情報を公開することで、小児がん患者およびその家族が診療病院を選択する一つのツールとなるため、小児がん医療の集約化に資すると考えられる。また、この情報公開により、小児がん診療に携わる地域の医療機関と連携し、これらの医療機関の診療機能を支援することが可能となる。

### (2) 情報公開の必要性

小児がん中央機関は、小児がんに関する情報を収集し、広く国民に提供することを役割の一つとしている。小児がん拠点病院においては、既に統一された様式で、領域別の小児がん診療機能、診療実績の情報公開を行っており、その情報は「小児がん情報サービス」に掲載され、小児がん患者およびその家族に十分に活用されている。

しかし、小児がん診療を担う各医療機関の診療情報は、公開の有無および公開される内容等に関して統一されておらず、小児がん患者およびその家族に対する情報は十分ではない。また、成人がん拠点病院全体の情報の把握は、院内がん登録からある程度把握することは可能だが、院内がん登録は初発患者が対象であり、再発小児がんに関する情報が不足している。

小児がん拠点病院は、小児がん診療に携わる地域の医療機関と連携し、これらの医療機関の診療機能を支援することが求められている。今回、小児がん拠点病院がブロック内の小児がん診療を担う医療機関の診療情報を収集することにより、小児がん拠点病院とブロック内の小児がん診療を担う医療機関のより密な連携を得ることができ、ブロックの取り組みの活性化につながる。

### (3) 公開する情報

- ①医療機関の名称等
- ②医療機関の体制
- ③診療実績
- ④臨床研究の実施状況